

防官文（事）第412号
令和2年10月30日

大臣官房長
各局長
施設等機関の長
各幕僚長
情報本部長
防衛監察監
各地方防衛局長
防衛装備庁長官
殿

事務次官
(公印省略)

令和3年度における再生可能エネルギー電気の調達の促進のための指
針について（通達）

標記について、別紙のとおり定められたので、通達する。

添付書類：別紙

令和３年度における再生可能エネルギー電気の調達のための指針

1 趣旨

気候変動の問題は、国際社会の平和と安定に影響をもたらす可能性があるのみならず、国民生活にも様々な悪影響を生じさせるおそれがある。約２５万人の隊員が所属し、全国各地で施設を運用する防衛省・自衛隊として、電気の調達に当たり、再生可能エネルギー電気（「RE100 TECHNICAL CRITERIA」において「renewable electricity」として定める再生可能エネルギー電気をいう。以下同じ。）の更なる調達を促進する。

2 電気調達の方向性

防衛省・自衛隊における、令和３年度の電気の調達の方向性は、次の各号に掲げるとおりとする。

- （１）可能な限り再生可能エネルギー電気を調達することにより、防衛省・自衛隊が調達する電気に占める再生可能エネルギー電気の比率を引き上げること。
- （２）防衛省・自衛隊の施設周辺の地域に根差した電気事業者等を活用すること。
- （３）調達に係る競争性を確保すること（会計法令等との整合性を確保すること。）。
- （４）従前の再生可能エネルギー電気を含まない電気の調達価格より低廉な調達価格を実現すること。
- （５）電気供給の安定性を確保すること。
- （６）原則として全ての防衛省・自衛隊の施設において実施すること。

3 電力調達に係る指針

防衛省・自衛隊における、令和３年度の電気の調達に当たっては、次の各号に定めるところによるものとする。

（１）仕様書に付する条件

ア 電気の調達に係る契約については、国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針（平成３１年２月８日閣議決定）２．（１）にいう裾切り方式によることを明記するものとする。この場合において、入札に参加する者に必要な資格を設定するに当たっては、環境省の示す基準に準拠するものとする。

イ 次の（ア）及び（イ）に例示するところにより、入札に参加する者が供給しようとする電気に占める再生可能エネルギー電気の比率（以下「再生可能エネルギー比率」という。）に条件を付するとともに、当該者が当該条件を満たすことを証明する資料の提出を義務付けるものとする。

（ア）供給電気の種類等を指定する文の例

「「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー電気を供

給することとし、その電気は再生可能エネルギー比率〇〇%以上とすること。」

(参照：付紙第1 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要、付紙第2 Going 100% - RE100 (<http://there100.org/going-100>))

(イ) 供給電気が(ア)の条件を満たすことを証明する資料の提出を義務付ける文の例

「乙は、供給する電力量に占める再生可能エネルギー電気の比率について確認できる資料を、甲に書面で提出することとする。」

(参照：付紙第3 特定電源割当証明書様式例)

ウ イの規定により再生可能エネルギー比率に条件を付するに当たっては、次の(ア)から(エ)までに定めるところによるものとする。

ただし、電気事業者への聞き取りの結果、(ア)に定める再生可能エネルギー比率による電気の供給を行える者の2者以上の入札への参加を確保することが困難であると認められる場合には、(ア)の規定によらず、(イ)から(エ)までの規定により条件を付することができる。この場合において、(イ)中「1回目の入札手続の結果、不調又は不成立となった場合には、2回目」とあり、及び(ウ)中「2回目」とあるのは「1回目」と、(ウ)及び(エ)中「3回目」とあるのは「2回目」と読み替えるものとする。

(ア) 1回目の入札手続においては、再生可能エネルギー比率を100%とすることを仕様書に明記する。

(イ) 1回目の入札手続の結果、不調又は不成立となった場合には、2回目の入札手続においては、再生可能エネルギー比率を50%以上とすることを仕様書に明記する。

(ウ) 2回目の入札手続の結果、不調又は不成立となった場合には、3回目の入札手続においては、再生可能エネルギー比率を30%以上とすることを仕様書に明記する。

(エ) 3回目の入札手続の結果、不調又は不成立となった場合には、仕様書から再生可能エネルギー比率に係る条件を付さず、入札手続を行う。

エ 防衛省・自衛隊の施設が所在する地域において、電気を供給可能な電気事業者が1者しか存在しない場合においては、ウの規定にかかわらず、第3号ウに定めるところにより仕様書に条件を付した上で、入札手続を行うものとする。

(2) 積算方法

ア 再生可能エネルギー電気の調達における予定価格の積算に当たっては、再生可能エネルギー電気を含まない電気の調達価格より低廉な調達価格を実現するため、次の(ア)及び(イ)に掲げる単価に係る情報を可能な限り((イ)に掲げる単価に係る情報にあつては、入札手続の都度)入手した上で当該積算を行うとともに、予定価格の基となる電気料金は、次の(ウ)に掲げる単価を上回らない

よう設定することとする。

(ア) 電気の供給を受ける防衛省・自衛隊の施設が所在する地域の旧一般電気事業者の供給約款における単価

(イ) (ア) の地域におけるその他の小売電気事業者による、再生可能エネルギー比率に応じた見積り単価

(ウ) 再生可能エネルギー電気を含まない電気の供給に係る直近の契約実績単価に、物価の変動を加味して算出した単価

イ ア(ウ)に掲げる単価の算出を行うために物価の変動を加味するに当たっては、次の(ア)及び(イ)に掲げる情報を参考とするものとする。

(ア) 総務省統計局による平成27年基準の消費者物価指数(全国：電気代)

は、平成29年においては95.0、平成30年においては99.3、令和元年においては102.2であること。

(イ) 平成29年から令和元年までの3年間の平均の物価指数の変動は、年当たり約3.72%の上昇であること。

(3) 留意事項

ア 入札に参加する者が第1号アに規定する資格及び同号イに規定する条件を満たしていることについて、当該資格に係る適合証明書その他の書面及び特定電源割当計画書(参照：付紙第4 特定電源割当計画書様式例)により、それぞれの入札手続において確実に確認することとする。

イ 防衛省・自衛隊の施設が所在する地域において、当該地域に係る地方公共団体が出資する電気事業者や当該地域に根差した電気事業者が存在する場合には、可能な限り多くのこれらの事業者に対し入札への参加可能性について調査するとともに、入札への参加を積極的に促すこととする。

ウ 電気の調達に係る契約について、入札に付することができず、又は入札に付することが適当ではない場合においても、電気料金単価を上げることなく再生可能エネルギー比率を高めることの可否について、当該調達を行おうとする防衛省・自衛隊の施設が所在する地域の電気事業者と調整を行い、これが可能な場合には、第1号イ(ア)及び(イ)に例示するところにより、仕様書にその旨の条件を付することとする。

(4) 結果の報告について

各機関等は、所管の施設における、電気調達に係る契約結果(調達する電気に係る電力量、再生可能エネルギー比率、電気料金単価、電気調達に係る全ての入札状況等)についてとりまとめ、大臣官房文書課環境対策室に報告することとする。

この場合において、報告要領については、大臣官房文書課環境対策室長の定めるところによる。

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA^(※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

1. バイオマス（バイオガスを含む）
2. 地熱
3. 太陽光
4. 水力
5. 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電気（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電気の調達方法

自家発電 (Self-generated electricity)
1. 企業が保有する発電設備による発電
購入電力 (Purchased electricity)
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離した電力証書の購入
7. その他の方法

注：「その他の方法」では RE100 Technical Advisory Group が評価の上、RE100 の運営委員会が適正を判断する

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

G o i n g 1 0 0 % – R E 1 0 0

RE 100**JOIN NOW**

How To Guide

Companies joining RE100 make a global, public commitment to 100% renewable electricity.

To achieve this goal, they must match 100% of the electricity used across their global operations with electricity produced from renewable sources. These can include biomass (including biogas), geothermal, solar, water, and/or wind – either sourced from the market or self-produced.

What are the requirements to become a RE100 member?

1. Meet the joining criteria

To join the RE100 Initiative, companies must meet certain requirements (i.e. size, sector) outlined in the RE100 **Joining criteria** ([/downloads/RE100 Joining Criteria.pdf](#)). The commitment includes all electricity that a company consumes (including self-generated electricity).

2. Set an ambitious RE100 target

RE100 companies must select a target date for achieving 100% renewable electricity. The minimum requirements are:

- 100% by 2050, with interim steps of at least:
- 60% by 2030;
- 90% by 2040

If a joining member company is already at 100% renewable electricity, they are invited to share the date they reached this achievement. In this case, and if the company has a year-on-year rolling target, its target year will be the reporting year.

The average target date for RE100 companies is 2028, with those based in more mature markets such as Europe and the US tending towards shorter timeframes. Based on the rate at which the global power system needs to be decarbonised to meet the ambitions in the Paris Agreement, no company should set a date later than 2050. **Setting a 100% renewable electricity target by 2030 at the latest shows a strong level of leadership.**

The target applies to all operations globally, but companies have the possibility to exclude from the scope of their target some small operations which have negligible impact on local demand, up to 100 MWh per market for a limited number of markets. The full details are available in our **Materiality Threshold** ([/media.virbcdn.com/files/6e/b1012f213ef45d02-RE100MaterialityThresholdDec2019.pdf](#)) document.

3. Source renewable electricity in line with the RE100 criteria

RE100 member companies must progress towards their 100% commitment in line with the RE100 criteria, contained in the following three documents:

A. **Technical Criteria** ([/media.virbcdn.com/files/73/4c55f6034585b02f-RE100TechnicalCriteria.pdf](#)) (a version in **Mandarin Chinese** ([/media.virbcdn.com/files/2f/b50645f29da10098-RE100TechnicalCriteria_Chinese.pdf](#)) is also available), which gives details on:

- The technologies that we consider to be renewable;
- The sourcing options we recognise (both self-generation and purchase options);
- How to make credible unique use claims depending on the sourcing option chosen

B. **Guidance on making credible renewable electricity usage claims** ([/media.virbcdn.com/files/62/53dc80177b9cc962-RE100CREDIBLECLAIMS.pdf](#)), providing details on:

- How renewable electricity claims are distinct from offsetting claims;
- The attributes needed to claim renewable electricity usage;
- The definition of a credible attribute tracking system – we have identified that RECS (US and Canada), GOs or REGO (Europe), T-REC (Taiwan), Green Power Certificate/J-Credit (renewables) (Japan), I-REC (International) and TIGR (International) meet those criteria

C. **Market boundary criteria** ([/media.virbcdn.com/files/7e/191491523d3effa5-27052019_NoteonMarketBoundaryCriteria.pdf](https://media.virbcdn.com/files/7e/191491523d3effa5-27052019_NoteonMarketBoundaryCriteria.pdf)), defining what can be considered as a single electricity market; to comply with RE100, the electricity consumed by the members must be produced within the same market boundary as it is consumed. So far, the market boundaries are country boundaries, except from the European and the North American markets.

4. Report progress annually

Company progress towards 100% renewable electricity must be reported annually via the RE100 Reporting Spreadsheet or **CDP's Climate Change questionnaire**. (<https://guidance.cdp.net/en/tags?cid=2&ctype=theme&gettags=0&idtype=ThemeID&incchild=1µsite=1&otype=Guidance&page=1&tgprompt=TG-124%2CTG-127%2CTG-125>) Consumption and production of renewable electricity need to meet credibility and transparency requirements.

The data collected is published in the **RE100 annual reports** (<http://there100.org/reports-briefings>) and provides the insights on corporate renewable electricity sourcing and aggregated demand, that drive and direct our policy work globally.

5. Communicate transparently on the barriers faced

Procuring renewable electricity in some markets is challenging and we recognise that corporate ambition to reach 100% may outpace availability in some areas.

If a company does not reach their 100% target because they cannot make credible claims of renewable electricity use in a market, this is does not represent a failure of the company. Rather, it is an opportunity to use their influence in combination with other RE100 members and supporting organisations to advocate for market change.

If none of the sourcing options considered as credible in the RE100 criteria is available – including onsite self-generation – we recommend that:

- Companies communicate transparently and publicly on the barriers they face in those markets and countries, as their voices are powerful;
- Companies operating in the country try to aggregate their demand and to develop a solution. We are happy to discuss opportunities to connect members in regions where sourcing renewable electricity is particularly challenging;
- Companies engage with key stakeholders such as governments and energy companies to develop new options that suit their needs.

Renewable energy is a fast-evolving sector and we expect that all regions will have renewable energy sourcing options available in the near future.

What is considered as leadership for corporate sourcing of renewable electricity?

There are multiple ways in which a company can demonstrate leadership on renewable electricity. **The leadership paper** ([/media.virbcdn.com/files/ef/f8e97377fa5493be-RE100LeadershipPaper.pdf](https://media.virbcdn.com/files/ef/f8e97377fa5493be-RE100LeadershipPaper.pdf)) provides a framework for companies seeking to demonstrate leadership in the transition to 100% renewable electricity, and gives examples of best practice already being implemented by leading RE100 members.

Contact

For queries related to the joining criteria or to get in touch about joining RE100, please contact info@RE100.org (<mailto:info@RE100.org>).

For more information about the technical criteria, or any technical questions, please contact re100@CDP.net (<mailto:re100@CDP.net>).

JOIN NOW ([MAILTO:INFO@RE100.ORG%20](mailto:info@RE100.ORG%20))

[Contact](#) [Press](#) [Terms & Conditions](#)

<http://there100.org/going-100>

特定電源割当証明書様式例

〇〇年〇月〇日

特 定 電 源 割 当 証 明 書

●●●●

〇〇 〇〇 様

〇〇県〇〇市〇〇
株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇

〇〇年〇半期に以下の通り●●●●に電力を供給したことをここに証する。

また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、●●●●に移転したことと、いかなる第三者へも移転されていないことをここに証する。

1 お客様情報

お客様番号 〇〇〇〇
需要施設名 〇〇〇〇
需要施設住所 〇〇県〇〇市〇〇
契約電力 〇〇〇〇kW

2 供給期間

〇〇年〇月〇日～〇月〇日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積
再エネ由来電力量 (kWh)【A】													
供給電力量 (kWh)【B】													
再エネ比率 (%)【A/B】													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（〇月）

1 再エネ電気

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量 (kWh)
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	水力	〇〇
合計 (kWh)			

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	環境価値移転量	発電期間	認証番号
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	太陽光	〇〇	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日	〇〇
合計 (kWh)					

総計 (kWh)

特定電源割当計画書様式例

〇〇年〇月〇日

特定電源割当計画書

● ● ● ●

○○ ○○ 様

〇〇県〇〇市〇〇
株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇

〇〇年度に以下の通り●●●●に電力を供給することを計画する。

また、供給電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値については、●●●●に移転する計画である。

1 需要施設名等

需要施設名 ○○○○
需要施設住所 ○○県○○市○○
契約予定電力 ○○○○k W

2 供給期間

〇〇年〇月〇日～〇月〇日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（再エネ由来電力量の内訳は別紙のとおり）

[illegible]

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳

1 再工不電気

供給元発電所名	住所	再生可能エネルギー源種類	割当電力量（kWh）
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	水力	〇〇
		合計（kWh）	

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

[illegible]

総計 (kWh)

※計画作成時点において、供給元発電所等について未定である場合は、可能な範囲で細部について記載すること